

生成 AI 市場の主要プレイヤーシェア分析：チャットボット、画像生成、企業向けサービス

2025 年現在、生成 AI 市場は急成長を続けており、様々なプレイヤーがシェア争いを繰り広げています。本レポートでは、コンシューマ向けチャットボット、画像生成アプリ、企業向け生成 AI サービスの 3 分野における市場シェアを世界・アメリカ・日本の地域別に分析します。

コンシューマ向けチャットボットアプリの市場シェア

世界市場

世界のチャットボット市場では、OpenAI の ChatGPT が圧倒的なシェアを維持しています。2025 年 2 月時点で ChatGPT の週間アクティブユーザー数は 4 億人を突破し、2024 年 12 月の 3 億人から 2 ヶ月で 1 億人増加しました¹。チャットプラットフォーム Poe の調査（2025 年 3 月発表）によると、OpenAI と Anthropic の 2 社だけでテキストモデル使用シェアの 85% を占めています²。特に Anthropic は、2024 年 6 月にリリースされた Claude 3.5 Sonnet 以降、シェアを急速に拡大し、OpenAI と肩を並べるまでに成長しています。

アメリカ市場

2024 年 7 月 8 日時点のアメリカ市場では、以下のシェア分布が報告されています：

- ChatGPT (OpenAI): 61.3%
- Microsoft Copilot: 約 15% (OpenAI の GPT-4o 技術使用)
- 合計すると OpenAI 技術は約 75% のシェア
- Google Gemini: 3 位 (具体的な数値なし)
- Perplexity (AI ラッパー): 4 位³

Perplexity は複数の生成 AI モデルを統合した AI ラッパーとして、また検索エンジン機能を持つプラットフォームとして注目を集めています。

日本市場

日本市場における具体的なチャットボットアプリのシェアデータは限られていますが、AI チャットボット市場は急成長しており、2027年には市場規模が約454億5,000万円に達すると予測されています^[4]。この成長は、労働力不足解消やDX推進、消費者のデジタル化によるオンライン問い合わせ需要の拡大が主な要因です。

画像生成アプリの市場シェア

世界市場

画像生成分野では、市場構造が劇的に変化しています：

- Black Forest Labs（ドイツ）のFLUXファミリー：約40%（2024年に市場リーダーに）
- GoogleのImagen3ファミリー：約30%（Imagen3とImagen3-Fastの合計）
- OpenAIのDALL-E-3とStable Diffusion：シェアが約80%減少^[4]

世界のAI画像ジェネレーター市場規模は、2022年に2億57.175百万米ドルであり、2030年までに9億17.448百万米ドルに達する見込みで、年平均成長率(CAGR)は17.4%と予測されています^[4]。

アメリカ市場

北米は2022年に世界のAI画像ジェネレーター市場の39.99%を占め、市場を主導しています^[4]。具体的な企業別シェアのデータは限られていますが、世界市場と同様に、Black Forest LabsのFLUXファミリーとGoogleのImagen3が主要プレイヤーとなっています。

日本市場

日本における画像生成アプリの具体的な市場シェアデータは提供されていませんが、世界的なトレンドを反映して、従来のDALL-EやStable Diffusionから、より高品質な画像を生成できる新興モデルへのシフトが進んでいると考えられます。

企業向け生成AIサービスの市場シェア

世界市場

企業向け生成 AI 市場は 2030 年までに 198 億 870 万米ドルに達し、2025～2030 年にかけて CAGR 38.4%で成長すると予測されています¹⁴。企業がデータ処理や管理業務の自動化から予知保全まで幅広い用途で活用する動きが加速しています。

主要プレイヤーの動向：

- OpenAI: ChatGPT エンタープライズプランが急速に成長中
- Anthropic: API 事業が急拡大。2024 年 9 月時点での年間経常収益は 8 億ドル（約 1,195 億円）で前年同期比 700%成長。2025 年には 22 億ドル（約 3,280 億円）に達する見通し¹⁴

アメリカ市場

アメリカの生成 AI 市場規模は 2030 年までに 337 億 8,000 万米ドルに達すると予測されており、2024 年から 2030 年にかけて CAGR 36.3%で拡大する見込みです¹⁴。

- OpenAI: 企業向け ChatGPT が短期間で 200 万人の有料ユーザーを獲得¹⁴
- Anthropic: API 事業が急成長。年初から 5 倍の 6 億 6,400 万ドル（約 1,000 億円）規模に¹⁴
- 専門 AI: 開発者向けの Phind（四半期成長率 19%）、ビジネス向けの Claude AI（Anthropic）が急成長¹⁴

日本市場

日本の中小企業における RPA（業務自動化）と AI 活用分野では：

- コクーの「マクロマン」とマイクロソフトの「Microsoft Power Automate」：各 18%（1 位タイ）
- FCE プロセス&テクノロジーの「Robo-Pat DX」：16%（3 位）
- ユーザックシステムの「Auto 名人シリーズ」：14%（4 位）¹⁴

中堅・大手企業ではマイクロソフトが初めて首位となりました¹⁴。カスタマーサポート分野では、生成 AI を「既に利用している」「使う予定がある」企業は 36.3%である一方、「考えていない」「関心はない」という回答も 40.1%あり、市場の二極化が見られます¹⁴。

生成 AI 市場の今後の展望

生成 AI 市場全体としては、2030 年までに世界で 2,110 億ドル（約 31 兆円）¹⁰、日本で約 1 兆 7,774 億円（約 15 倍成長）¹¹、アメリカで 337 億 8,000 万米ドル¹²に達すると予測されています。

コンシューマ向けチャットボット市場では OpenAI が優位性を維持する一方、Anthropic が急迫しています。画像生成市場では Black Forest Labs と Google が新たな主要プレイヤーとなり、企業向け市場では OpenAI と Anthropic が主導しつつ、日本ではマイクロソフトも強いプレゼンスを示しています。

AI 技術の進化と消費者のデジタルシフト、企業の DX 推進により、今後も生成 AI 市場の成長は継続すると見込まれます。特に企業向け市場では、業務効率化やカスタマーサポート、開発支援などの分野で導入が加速するでしょう。

結論

生成 AI 市場は急速に変化しており、特に画像生成分野では短期間でトッププレイヤーが入れ替わるダイナミックな展開を見せています。コンシューマ向けチャットボットでは OpenAI が優位性を持ちますが、Anthropic が急速に追いついてきています。企業向け市場では用途の多様化が進み、各企業の特長に合わせたソリューションの差別化が重要になってきています。

今後数年間で、AI 技術のさらなる進化とビジネスプロセスへの深い統合が進み、市場構造はさらに変化していくことが予想されます。

*
**

1. https://www.excite.co.jp/news/article/AMP_458219/
2. <https://note.com/akikito/n/n114851e9a0f2>
3. <https://ai.cloudcircus.jp/media/column/ai-chatbot-market>
4. <https://www.fortunebusinessinsights.com/jp/ai-画像生成市場-108604>
5. <https://www.gii.co.jp/report/grvi1575277-enterprise-generative-ai-market-size-share-trends.html>
6. <https://www.gii.co.jp/report/grvi1446515-us-generative-ai-market-size-share-trends-analysis.html>
7. <https://www.m2ri.jp/release/detail.html?id=634>
8. <https://officebot.jp/columns/business-efficiency/generation-ai-cs/>

9. <https://book.st-hakky.com/data-science/market-share-of-generative-ai/>

10. https://note.com/mate_inc/n/n57cd2ede41c9